



# ポップカルチャーから見る 日韓新時代

PIXA(Platform, International  
eXchange Association)

平成 27 年度 IYEO チャレンジ・ファンド助成事業

平成 27 年 7 月 26 日 (日)、IID 世田谷ものづくり学校にて、日韓国交正常化 50 周年記念事業「ポップカルチャーから見る日韓新時代 (基調講演・パネルディスカッション・ワークショップの 3 部構成)」が開催され、高校生から 60 代まで女性を中心に 86 名が参加しました。このイベントは、日韓文化を研究する教授によるキーノート、語学・ドラマ・音楽業界の有識者によるパネルディスカッション、ワークショップの三部構成で行われました。キーノートに登壇した一橋大学クォン・ヨンソク准教授によるお話では、日韓両国で育ち、それぞれの文化を体感した当事者の意見を聞くことができました。クォン准教授の分析によると、韓国の文化は「発散力」「情熱的」、日本の文化は「誠実」「ありのままの姿を大切にする」という持ち味の違いがあるからこそ、お互いが興味を惹かれあう関係にあるのだと言います。

有識者によるパネルディスカッションでは、韓国語学習ジャーナルを発行する株式会社 HANA のベ・ジョンリョル社長による韓国語学習者の過去と現在の比較について、TBS テレビ長生啓プロデューサーによる 2002 年日韓共同作成ドラマ「フレンズ」の裏話、K-POP ライター 酒井美絵子さんによる韓国アイドル事情など、多様な情報が含まれていました。ワークショップでは「日韓関係を良くするためのアイデア」を参加者同士で議論し、たくさんの具体的なアイデアを出し合いました。今回の参加者は、日本・韓国・両国籍 (在日含む) ・台湾人という構成だったので、お互いの価値観を語り大いに盛り上がっていました。



## 【参加者の感想】

- ・今回のテーマに関して第一線でご活躍されている方たちのお話を聞くことができただけでなく、参加者同士の交流もでき、有意義なイベントだった。
- ・韓国語を勉強し始め、文化などソフト面にも興味を持った
- ・歴史や経済の話は難しいが、身近な話題を題材にしたディスカッションに興味を持った
- ・日韓の学生交流の仕事をしているので、新しいアイデアを探しに来た
- ・どんなイベントになるのかドキドキしていたが、「日韓」を取り巻く状況を色々な視点から考え直すことができる良い機会だった。またこういったイベントを開催してほしい。
- ・非常に深いところまで掘り下げられたイベントだったと思う。ゲストのレベルが高く、また話も面白く、有意義なひと時だった。

## 【日程】

7月26日(日) 10:30-17:00	
10:30	開会式
10:45	国際政治学者クォン・ヨンソク准教授によるキーノート
12:00	昼食 (韓国料理屋「カヤエン」)
13:00	パネルディスカッション ・株式会社HANA社長 ベ・ジョンリョル氏 ・TBSプロデューサー 長生啓氏 ・K-POPライター 酒井美絵子氏 (IYEO会員)
14:30	交流会 テーマ「これからの50年に向け、各自ができること」
17:00	閉会

主催：PIXA(Platform, International eXchange Association)

共催：日本青年国際交流機構 (IYEO)\*

後援：韓国国際交流財団東京事務所、  
(公財)日韓文化交流基金、  
(一社)日韓経済協会、(一社)高麗1300、外務省  
韓国コンテンツ振興院 (KOCCA)

協力：アイケーブリッジ外語学院、株式会社HANA